

令和 7 年 7 月定例教育委員会会議録

令和 7 年 7 月 1 日 定例熊谷市教育委員会を市役所 3 0 3 会議室に招集する。

- 出席者
渋谷 昌美、小林 敏宏、加藤 道子、大石 聡一
- 出席事務局
教育次長 三友 孝二
参事兼学校教育課長 中谷 樹
教育総務課長 小暮 洋久
社会教育課長 小澤 信行
文化センター所長 大野 浩
社会教育課文化財保護・
市史編さん担当副参事 吉野 健
教育総務課副課長 増田 彩子
教育総務課主事 浅見 柚妃

1 3 時 3 0 分 7 月定例教育委員会開会

教育長が、令和 7 年 7 月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に加藤委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

6 月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、議案第 2 4 号から第 2 7 号は、継続審議及び人事案件を含むため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第 1（報告第 7－1 号）寄附申出について

教育総務課長から、令和 7 年 5 月 1 1 日から令和 7 年 6 月 1 0 日までの期間、ふるさと納税が 1 件 1 万 7 千円の寄附申出があったとの報告があった。

そのほか、熊谷市内の子供たちの教育等の充実のためとして、市内佐谷田の株式会社ユーパーツから現金 1 0 0 万円、別府小学校児童の熱中症予防のためとして、別府小学校 PTA から 3 7 万円相当のウォータークーラー 2 台の寄附申出を頂いた。

また、戦争資料として、匿名の方から熊谷図書館へ 6 万 5 千円相当の「武運長久の旗」等戦争関連資料 1 4 点、同じく戦争資料として、匿名の方から熊谷図書館へ 3 万 1 千円相当の「武運長久の旗」等戦争関連資料 7 点の寄附申出を頂いた。

日程第 1（報告第 7－2 号）7 月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、7 月 15 日に埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会が、8 月 5 日に 8 月定例教育委員会及び総合教育会議が開催される予定であるとの報告があった。

日程第 1（報告第 7－3 号）熊谷市運動部活動地域連携に向けた実証事業「部活動地域連携熊谷モデル」について

学校教育課長から、昨年度実施された「部活動地域連携熊谷モデル」について報告があった。

熊谷市では、令和 5 年度から、少子化の中でも生徒にとって望ましい持続可能な部活動と教員の働き方改革の実現を図ることを目的とし、休日の運動部活動の地域連携について実証を行い、課題等を整理・検証している。

令和 6 年度は、参加申込が陸上競技では 7 校から 66 名、剣道では 6 校から 38 名、ラグビーでは 6 校から 107 名であった。また、1 回あたりの参加人数は、種目や活動内容に応じて 10～74 人の間であり、多くの指導者の協力を得て実施することができた。成果について、所属している学校で希望する部活動がない生徒や、更なる技術の向上を目指す生徒にとって有益な活動であり、活動に参加する生徒が多い学校の部活動では、自校の部活を休みにすることで顧問の先生の休暇を確保できるなど、教員の働き方改革にとっても有益であった。

令和 7 年度は、種目は令和 6 年度から継続し、他団体との連携や会場の改善を目指して実施していく予定であり、来年度以降種目増加の可能性を探っていくとの説明があった。

（質疑等）

小林委員から、令和 6 年度は全て土曜日の午前に開催していたが、令和 7 年度は何曜日になる予定かとの質問があり、学校教育課長から、令和 7 年度も令和 6 年度と同様の予定だが、陸上競技については他団体と調整中であるとの回答があった。

大石委員から、顧問の先生は確実に休暇を確保できたのかとの質問があり、学校教育課長から、会場となっていない学校の顧問の先生は、保険の関係で「部活動地域連携熊谷モデル」には原則参加できないため、少なくとも部活の指導はしていないとの回答があった。

教育長から、現状、部活動を完全に地域移行することは困難であるため段階的な地域移行としており、本市のその取組みは県からモデルとして紹介されている。所属している学校で希望する部活動がない生徒や、更なる技術の向上を目指す生徒のために、学校・家庭・地域にとって無理のない範囲で、今後も積極的に本事業を進めていくとの説明があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和7年5月16日から令和7年6月15日までに後援等承認決定した事業が22件あったとの報告があった。

（その他）令和7年6月市議会定例会について

教育総務課長から、6月25日に閉会した令和7年6月市議会定例会について報告があった。

まず、6月市議会定例会における教育委員会関連の議案について、令和7年度一般会計補正予算案、熊谷東小学校教室棟改修建築工事、荒川中学校教室棟改修建築工事及び佐谷田小学校教室棟改修建築工事（1期）の請負契約締結の計4件の議案を提出し、いずれも議会の承認を得たとの報告があった。

また、同定例会での市政に関する一般質問のうち、教育委員会関連の質疑応答を抜粋したものを配布したとの報告があった。

（その他）「踊る埴輪」「みんなで歩こう中山道」について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、市内野原古墳出土踊る埴輪及びみんなで歩こう！中山道リーフレットについて説明があった。

初めに、「踊る埴輪」のリーフレットは、令和7年度新規事業「「踊る埴輪」知名度アップ事業」の一環であり、埴輪の代名詞とも言える「踊る埴輪」が唯一本市で出土していることをPRすることで「踊る埴輪＝熊谷市」のイメージ定着を狙うため、その詳細について解説するリーフレットを作成したものである。本事業では、ほかに3D計測・データ化に基づく10分の1スケール樹脂型による「踊る埴輪」のミニチュアストラップ作りや、「踊る埴輪」が出土した野原古墳の御埴印の作成・販売などを行っていく予定である。

次に、「みんなで歩こう！中山道」リーフレットも、令和7年度新規事業「みんなで歩いて中山道江戸時代体験事業」の一環であり、市内を通る中山道ルートをより多くの人に周知するために、7月から8月の日曜日のうち計5回市立熊谷図書館第一講座室において開講する講座「みんなで学ぼう！中山道」、10月の土曜日に計4回開催する歩き体験イベント「みんなで歩こう！中山道」を通じて、地域の振興及び観光振興に資することを目的とするものである。講座については、中山道・街道・近世史等に造詣の深い大学の先生、本市文化財保護審議会会長や市史編さん室職員を講師に迎え、体験イベントについては、参加者のための道標を設置の上、熊谷観光ボランティアガイドの会・くまがい探偵団の協力を得て市域内全行程約14kmを2回に分けて歩くものを2回実施する予定であるとの説明があった。

日程第 2（議案第 2 4 号）

（議案は 8 月定例教育委員会への継続審議）

日程第 2（議案第 2 5 ～ 2 7 号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 7 年 7 月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（ 1 4 時 3 5 分 閉会）

署名 教育長 渋谷 昌美

委 員 加藤 道子